

vol.27

2012
SPRING

これからは、「男女」が「共同」して
仕事に、学校に、地域に、家庭に
「参画」していく時代です。女性も
男性もお互いに自立した良き
パートナーとして、イキイキ暮ら
せる佐賀市をつくりましょう。



Passport

佐賀市男女共同参画情報誌
ぱすぽーと

C · O · N · T · E · N · S

平成23年度 ^{ひと}女・^{ひと}男フォーラム p2~3

男女共同参画リーダー研修会 p4~5

第7回 一言メッセージ入賞作品 p6~7

— 日本女性会議2011松江大会参加報告 p8

平成23年度 女・男フォーラム

災害発生っ! 3日間を生き延びる!!

主催:佐賀県翼の会佐賀市支部

災害がおきた時、何が必要か。「持ちもの」「食べ物」「連絡・情報」「避難」をテーマにした4つの“国”をまわり、知恵を出し合いました。そこで出し合った知恵をもとに作成した「わたしの防災メモ」は、いざという時に役立つものとなりました。

最後は、佐賀県翼の会佐賀市支部が作成した防災紙芝居が披露され、参加者は、いざという時を想定した対策の大切さを確認しました。

参加者の声

- ・ ライフジャケットを準備したいと思います
- ・ 多くの人の意見を聞くことができ、情報が広くなりました



「避難」の国で知恵を出し合う参加者



防災紙芝居
「災害発生っ!こんなときどうする?」
絵:大江登美子

防災フォーラムで紹介されました!



午後からメートプラザ佐賀で行われた防災フォーラムでは、三原ユキ江さん(翼の会佐賀市支部理事)がこの講座の報告と、防災への女性の参画の必要性を話されました。

Dr.アイハラと語る私たちの恋愛観 ~今どきの『結婚』事情~

主催:佐賀大学文化教育学部鍋島ルネサンス運営委員会

日本はもとより、フランス、イタリアで600件もの結婚・恋愛相談を分析した相原先生の講演後、参加者は、3、4人のグループに分かれ、「恋愛、結婚に求めるものは」「人生のパートナーを見つけるには」について語り合いました。

参加者の声

- ・ 他の人たちの意見を聞いて、視野が広がりました
- ・ 同じ生活のサイクルの中では会う人が固定されてしまうため、新しいことを始めて、色んな人と出会う機会を増やそうと思いました



外国の恋愛事情を語る相原先生

3月11日(日)、ほほえみ館で、平成23年度女・男フォーラム「喋りんピック」を開催しました。市民団体や佐賀大学との協力で3つの講座を開催し、多くの方に参加いただきました。

心に効く護身術 WEN-DO

講師:橋本明子さん



技を練習する前に体をほぐします

カナダ発、女性のための自己防衛プログラム「WEN-DO」。講座では、身体的な面だけでなく、自分の中にある心の力についても学びました。

「自己中心」と「自分の生活の中心が自分」の違いの説明があり、「自分を大切にできる心」を認識しました。

参加者の声

- ・ 普段から練習し、いざという時のために備えることが大事だと思いました
- ・ 朝から体を動かして、大きい声を出して、すっきりしました

サークルズプログラム

カナダで実践されている、親密さと人間関係を学ぶプログラム。自己からの距離にふさわしい態度・感情・行動を表します。



男女共同参画推進協賛事業所 紹介①

市とともに男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいただいている協賛事業所。そこに働く社員の方々の声を紹介します。

協賛事業所 募集中

*応募用紙はホームページから取り出せます
⇒<http://www.city.saga.lg.jp/>

協同組合アルタ・ホープグループ

各種商品小売業



池田龍二さん

若い世代から年配者まで幅広い仲間がいます。色々な相談もでき、子育てをしながらの勤務も可能です。

優しさと思いやりのある職場作りをめざし、男女ともに働きやすい環境を皆で作っています。

有限会社今村機械

一般機械器具製造業 (農業用機械)

農業用機械(花選別機、ごぼう選別機、なぎ選別機、その他)を製造販売、全国に出荷しています。



社員が少ないので、男女とも能力を十分に発揮できる会社作りを努めています。

江頭秀治商店

金属回収卸売業



家族のための休暇取得、早退等に柔軟に対応しています。

家族でのコミュニケーションの時間を多く持てるように、定時退社を促進しています。

男女共同参画リーダー研修会

佐賀市の男女共同参画の推進役である協賛事業所の方、女性人材リストの登録者、公民館の主事を対象とした研修を行いました。一般からも多数の参加をいただきました。

女性人材リスト登録者研修

1月24日(火) 参加者37人名

男女共同参画の視点から見た性的少数者の人権

講師：佐賀大学文化教育学部
准教授 吉岡剛彦さん



佐賀市女性人材リスト(佐賀市が有する審議会の委員や地域の講座の講師を推薦するリスト)に登録いただいている方を対象にした研修でした。

講演とDVDの上映をとおして、性的少数者の紹介がありました。性分化疾患、性同一性障害、同性愛などの性的少数者や、「男であること」「女であること」を必要以上に分けて考えている現実があることなどの説明がありました。

参加者の声

- ・男と女の両極に分ける社会の仕組みがなくならない限り、性的少数者の人権は守られないと思います
- ・性を正しく学ぶ大切さがよく分かりました

公民館主事研修

2月16日(木) 参加者33名

男女共同参画の視点から見た地域防災～被災地の現場から～

講師：大分県社会福祉協議会
専門員 村野淳子さん



佐賀市の公民館主事を対象にした研修でした。

大分県社会福祉協議会専門員であり、また、内閣府防災ボランティア検討会の委員も務める村野さんを講師に招き、被災地の状況報告をもとに、災害が発生した時の対応が紹介されました。

災害時、男女が共同して復興に対応できるようにするには、日頃から、意識的に、男女が共に支え合う地域づくりが必要であると説明されました。

参加者の声

- ・この研修を地域の方とどういう風に共有していくかが課題。行動を起こすことが大事
- ・防災・減災を考えるために、日頃から女性を取り込んだ地域づくりが大切だと分かりました

協賛事業所研修

1月24日(火) 参加者46名

経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス～企業における男女共同参画～

講師：拓新産業株式会社
代表取締役 藤河次宏さん



佐賀市男女共同参画推進協賛事業所を対象にした研修でした。福利厚生充実と社員の経営参画により、35年間、黒字経営を続けている社長のお話でした。

ワーク・ライフ・バランスに取り組むことで、優秀な人材の確保、従業員の満足度や仕事への意欲の向上などにつながることを学びました。

参加者の声

- ・大変有意義な講演でした。効率性を追求するためには必要な施策。
- ・経営の実践的なお話を聞くことができ、参考になりました。

株式会社LABO DESIGN うちでも実践してみました!

研修後、日ごろの業務において非効率な点はないか、作業日誌を全て見直し、業務改善に取り組みました。また、「新卒採用」を2014年度の長期計画目標とし、休暇、残業、賃金体系の見直しを進めています。

男女共同参画推進協賛事業所紹介②

三福海苔株式会社

製造業



百武邦仁さん

昨年6月育児休暇を終え、職場に復帰しました。子どもが小さいため、心配もありましたが、子育てをしながらも楽しく仕事ができるこの職場に感謝しています。

株式会社戸上デンソー

電気機械器具製造業



松本奈苗さん

育児休暇後は仕事を休むこともありますが、先輩が優しく見守ってくださいます。私自身も思いやりを持ち、仲間と助け合うことで、仕事と家庭の両立ができる職場づくりにつとめていきたいです。

理研運輸株式会社

道路貨物運送業



石橋龍介さん

昨年、ドライバーとして入社しました。職場には、女性の先輩ドライバーさんもうらっしゃいます。

仕事はハードですが、男女の区別なく働ける職場は、本当に素晴らしいと思います。

理研農産化工株式会社

化学工業

社員であると共に地域社会の一員として地域活動に積極的に係わりを持てるように、そして、子ども



サラダ油・小麦粉といえば、やっぱり理研

との係わりも深められるように業務改善を進めて、有給休暇使用率アップに努めています。

第7回 一言メッセージ入賞作品

主催:佐賀市男女共同参画ネットワーク“結い”

4月14日の「パートナーデー」に寄せて、家族や職場の同僚、友人などへ感謝の心を贈るメッセージを募集しました。4,586件もの心温まる作品の応募の中から、入賞された作品を紹介します。(学年は平成23年度現在)

こどもの部 最優秀作品

世界一ステキな先生にめぐり合えた。 毎日が楽しくて心がはじけそう

—先生へ 若楠小学校5年 山本 佳蓮

わかりやすい授業をしてくれる担任の先生。
とにかく、サイコーの先生です。
もうすぐクラスが変わるけど、最後まで先生と
楽しく過ごしたいです。



大人の部 最優秀作品

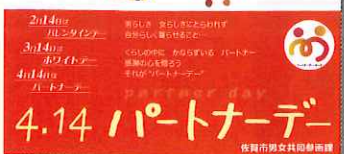
悩みごと なぜかすぐに軽くなる 見方がちがう あなたといれば

—夫へ 鍋島町 角本 久子

私が風邪をひいた時は、布団をひき、湯たんぽを
入れてくれるような、とても優しい夫です。
元気で長生きをしてほしいです。



感謝の心をあなたのパートナーへ



4・14パートナーデー

佐賀市では、女性も男性も良きパートナーとしてやさしく認め合い、いきいき暮らすことのできる社会をめざしています。

そこで、2月14日のバレンタインデー、3月14日のホワイトデーにちなんで、4月14日をお互いを大切に思いパートナーに感謝する日「パートナーデー」としています。

パートナーデーに、家族や友人、職場の同僚など、まわりにいるあなたの大切な人へ、感謝の気持ちを伝えてください。



こどもの部

- ◎西島皮膚科医院賞
見てない時に村のために花を植えてくれてありがとう。
地域のみなさんへ 三瀬中1 糸山 みさき
- ◎九州グリコ賞
ひとつの言葉でけんかして、ひとつの言葉でなかなおり。
友だちへ 鍋島小5 松本 陽和
- ◎味の素賞
あまり物を言わないその背中。
いつか追いつくことができるかな
おじいちゃんへ 附属中1 武富 広奈
- ◎板前割烹 香光賞
おばあちゃん、ありがとう。やわらかい笑顔
今日も心の毛布になる。
おばあちゃんへ 附属中1 吉富 由貴
- ◎村岡屋賞
しかってくれることが幸せなことだと気づいたよ ありがとう
お母さんへ 東与賀小5 久米 英里香
- ◎ガラス工房ダンダン賞
あの時話してよかった。心の雨にかさをありがとう。
友だちへ 鍋島小4 古賀 結
- ◎ガラス工房ダンダン賞
君から言われた「気にすんな!」
その一言で今も頑張っています
友だちへ 城北中2 平尾 直人
- ◎北島マルポー口賞
ちやぶ台を困んで夕食 そんなちっぽけな事が幸せ。
家族へ 諸富中2 江口 史織
- ◎佐賀玉屋賞
キャプテンになり、先輩の偉さ改めて知ったよ 中二の夏
先輩へ 諸富中2 浦川 綾
- ◎有明佐賀空港賞
やさしいね。かっこいいね。
ぼくは、おとうさんにそっくりだって。
天国のお父さんへ 新栄小1 藤井 航太郎
- ◎佐賀共栄銀行賞
今年も桃の花が咲きました。
おばあちゃん、向こうでも元気?
おばあちゃんへ 附属中3 松倉 百花
- ◎九州労働金庫賞
あなたは我慢すぎだよ。その言葉に救われたの
ありがとう。
お母さんへ 龍谷高2 北川 佑香
- ◎板前割烹 香光賞
汚れたつなぎで懸命に仕事する姿、
本当は誇らしくて大好きだよ。
お父さんへ 牛津高2 井上 愛
- ◎のり道楽賞
食堂の定食、とてもおいしいです。
いつも笑顔をありがとうございます。
食堂のおばちゃんへ 龍谷高2 石丸 輝

大人の部

- ◎肥前びーどろ賞
お母さん もう一度子どもの頃のように叱ってくださいませんか
母へ 坂元 武彦
- ◎サガ・ピネガー賞
豆腐。妻の買物メールは二文字だけ。
そいで十分通じっ。ツレ四十年ばい。
妻へ 嘉村 正司
- ◎(株)佐賀花市場賞
嫁が育てた大根で煮メ作りは私の出番。
「姑さん。ばり旨か!」の一言、嬉しか。
お嫁さんへ 森 セイ子
- ◎古湯温泉 鶴霊泉賞
イクメンになれるまに子が巣立ち、
今後は愛妻シニアをめざします。
妻へ 砂後 典之
- ◎北島マルポー口賞
新米教頭の私のために熱いお茶。
一人前になると誓う冬の朝。
職員のみなさんへ 田中 裕子
- ◎JAさが佐賀市支部賞
「君の思う通りにやってみたら。」の一言で
一步を踏み出せています。
夫へ 副島 智子
- ◎村岡屋賞
背負ったモノは一つ増えただけ、
幸せは数えきれぬ程増えたよ。
息子へ 峯 慶太
- ◎大和酒造賞
「おいでよかないば」「あたいでよかないば」の
声が心にひびきます。
地域のみなさんへ 永淵 薫
- ◎相撲茶屋大地賞
自分で辞め自分で決めた再就職。
「今日が本当の成人式ね。」と送り出す。
息子へ 小副川 まち子
- ◎「道の駅」大和そよかぜ館賞
39のやる気、39のやさしさ、39の輝く笑顔は、私の宝物。
毎日ありがとう。
五年二組のみんなへ 片淵 綾子
- ◎森の香 菖蒲こ膳賞
君が「朝」を「春」と覚え違えたおかげで
うちには毎朝春がくるよ
娘へ 柴田 知行
- ◎板前割烹 香光賞
期待どおりの息子じゃないけど あなたが目標です。
還暦おめでとう
父へ 竹下 博喜

学校賞

過去5回の応募をいただいた学校です。
ご応募、ありがとうございました。

- ・赤松小学校
- ・諸富北小学校
- ・鍋島中学校
- ・大和中学校

地域に応じた男女共同参画の推進を

— 日本女性会議2011松江参加報告

平成23年10月14日・15日、島根県松江市で「日本女性会議2011松江」が開催されました。今回で28回目となるこの会議に参加した市民の代表 園田恭子さんと男女共同参画課推進係長 中島勇生の報告です。

地域に応じた男女共同参画の推進を

園田 恭子

高齢化率39.4%の島根県邑南町で農産物の直売店舗の運営事業を行うボランティア団体の話がありました。この団体は、「高齢者の方々の生き甲斐づくり」を目的に、価値観の合致する女性のみで活動をスタートしました。

当初は、女性と一緒に手を取り合って仕事をするという意識が男性にはありませんでしたが、徐々に、目的を同じくする男性も加入し、現在では、男女が互いを認め合い、理解しあえる関係を築いています。

この思考豊かな島根県の女性が、地域を巻き込んだ事業を通し、地方の男性が持つ、昔から強く根付いている価値観を見事に転換させたことに感銘を受けました。

人は歳を重ねても、家庭や地域で「自分の役割」や「居場所」があることに生き甲斐を感じるものです。その「自分の役割」の中で、「男性」と「女性」がそれぞれお互い認め合うことができたときに、はじめて、価値観を共有することができるものだと思います。

佐賀でも、人々が望む地域のあり方や目指すべきものを見極め、「佐賀の女性が培ってきた知恵」や「佐賀の男性が身につけてきた技」を生かしながら、そこに住む人たちが願うような豊かな佐賀へと切り開いていくよう考えていかなければならないと思います。



女性の声が社会を変える

中島 勇生

福島県飯館村で行われた「若妻の翼」事業の事例紹介がありました。閉鎖的なムラ意識の殻を破るため、農繁期に40歳代までの既婚女性が欧州を訪問し見聞を広めるという事業でした。

この事業がきっかけとなり、村は男女共同参画社会に大きく前進し、「いいたてエンジェルプラン」、「いいたてパパキョータ制度」の導入につながりました。

これは、女性の発言や活動が地域や社会を変えたよい例だと思います。まさしく、「女性の声を反映することが男女共同参画社会の実現につながることである。」と感じた大会でした。

編集後記

「男女共同参画」とは、本来、「それぞれの場面で、男女両方居たほうがいいよね」というものだと思います。

防災や経営、恋愛のことも、同性の同じ立場の人と話すのは楽しいけれど、異なる立場の人と話すとは広がりが生まれます。最初は少し面倒かもしれないけれど、つながりを広げることで、自分と異なる性や異なる立場の人への理解も深まるかもしれませんね。

編集委員 今泉 正子・大江登美子・北島 常子・関谷 千春・園田 恭子・中原 正彦・中溝 末大・森永美智子・松本 康子

「ばすぽーと」に関する
ご意見・ご感想をお寄せください

発行

佐賀市企画調整部男女共同参画課
〒840-8501 佐賀市栄町1番1号
[TEL]0952-40-7014
[FAX]0952-29-2095
[URL]http://www.city.saga.lg.jp/
(佐賀市役所HP)
[E-mail]danjokyodo@city.saga.lg.jp